

建築人

2022

7

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.697





建築人

2022.07 No.697

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「大阪商工信用金庫 新社屋」2017年

第40回 大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞) 建築サイン・アート賞 受賞作品
設計: 安藤忠雄建築研究所
施工: 竹中工務店
撮影: 安藤忠雄建築研究所

大阪商工信用金庫新社屋の敷地には、かつて東洋紡本町ビルが建っており、その屋上には、建築家今井兼次による巨大なレリーフ「糸車の幻想」があった。この貴重な作品を復元保存し、歩行者も鑑賞できる2階レベルに設置することで、「都市の記憶」を活用した新たな風景の創造を試みた。

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市と和歌山市の凡そ中間に位置し、大阪湾を望む愛されスポットを取り上げたい。

手前に広がる砂浜は南海本線樽井駅からほど近い「タライサザンビーチ」の愛称で親しまれている、りんくう南浜海水浴場だ。美しい人工のビーチで、遊泳区域外にウィンドサーフィン専用エリアが設けられ安全にマリンスポーツを楽しめる。(2022年度シーズンは閉鎖)

また、海岸に沿って奥に見える白い大理石の人工渚は泉佐野市と田尻町、泉南市にまたがる「マーブルビーチ」と呼ばれる900mにも及ぶ海岸で、閑空を背景としたロマンチックなロケーションから「恋人の聖地」に認定されている。なお、タライサザンビーチと共に「日本の夕陽百選」に選定され、カップルや家族連れで賑わう観光名所となっている。

ここに至るまでを紹介したい。泉佐野市は関西国際空港開港に伴い、りんくうタウンや大型ショッピングモール、ホテル出店などの環境整備が進んだが、景気低迷や地価下落などの影響から市の財政が厳しくなり、2004年には財政非常事態宣言が発出され、2008年には財政健全化団体となった。しかし、2010年に策定した財政健全化計画に全力で取り組み、ようやく2015年度決算にて早期健全化団体から脱却を遂げた。

近代的な手法で環境を整備する事で、都市部から直ぐに海にアクセスできる貴重な憩いの場ができた。だからこそ自然と共に持続できる環境を目指していただきたい。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「西部石油株式会社 山口製油所新事務所棟」

基本計画: AA建築設計工房

設計: 大成建設一級建築士事務所

施工: 大成建設・宇部工業建設共同企業体

「reA. bldg」

設計: Kd plus archi.Lab.+原設計一級建築士事務所

施工: CSエンジニア

「MASSIVE」

設計: マニエラ建築設計事務所

施工: マイスターズ・ユニオン

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

12 令和4年度 定時総会・式典、表彰式・創立70周年記念講演

18 記憶の建築

「香川県庁舎」1958年

戦後復興の願いを刻む庁舎を見守って / 松隈 洋

建築人 No.697 2022年7月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長: 荻窪伸彦(編集人代表)

委員長: 松下典央

編集人: 飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局: 山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和4年7月1日発行

発行人: 会長/岡本森廣

発行所: 公益社団法人大阪府建築士会

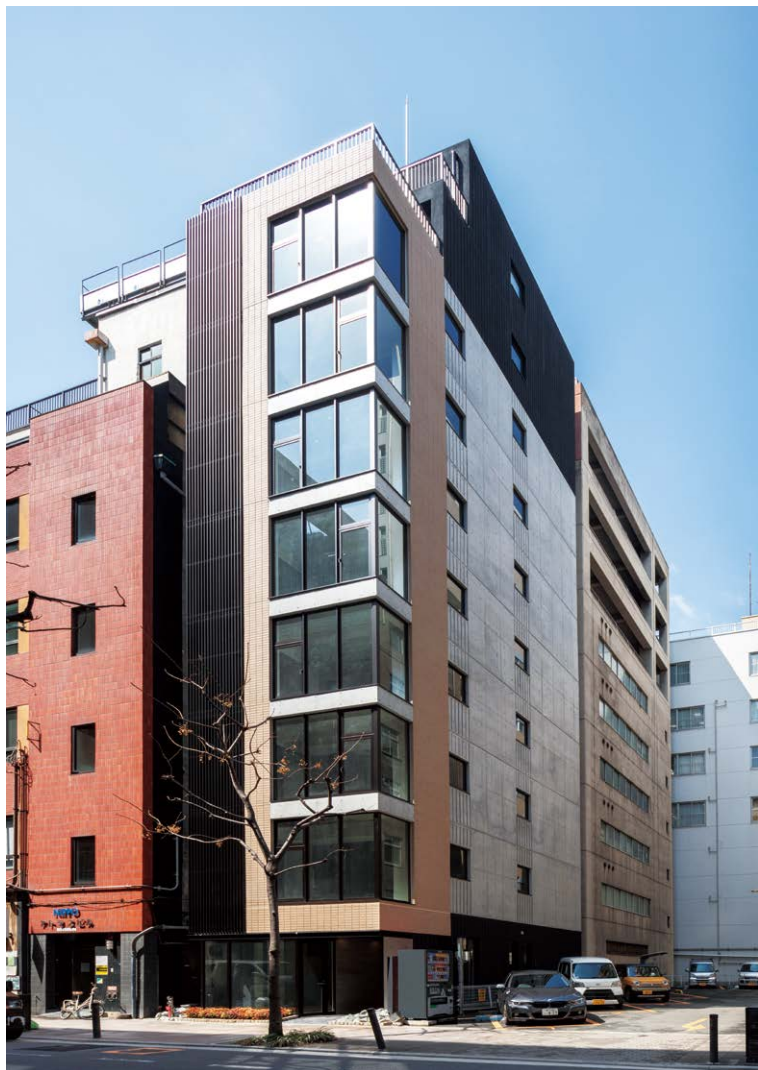
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



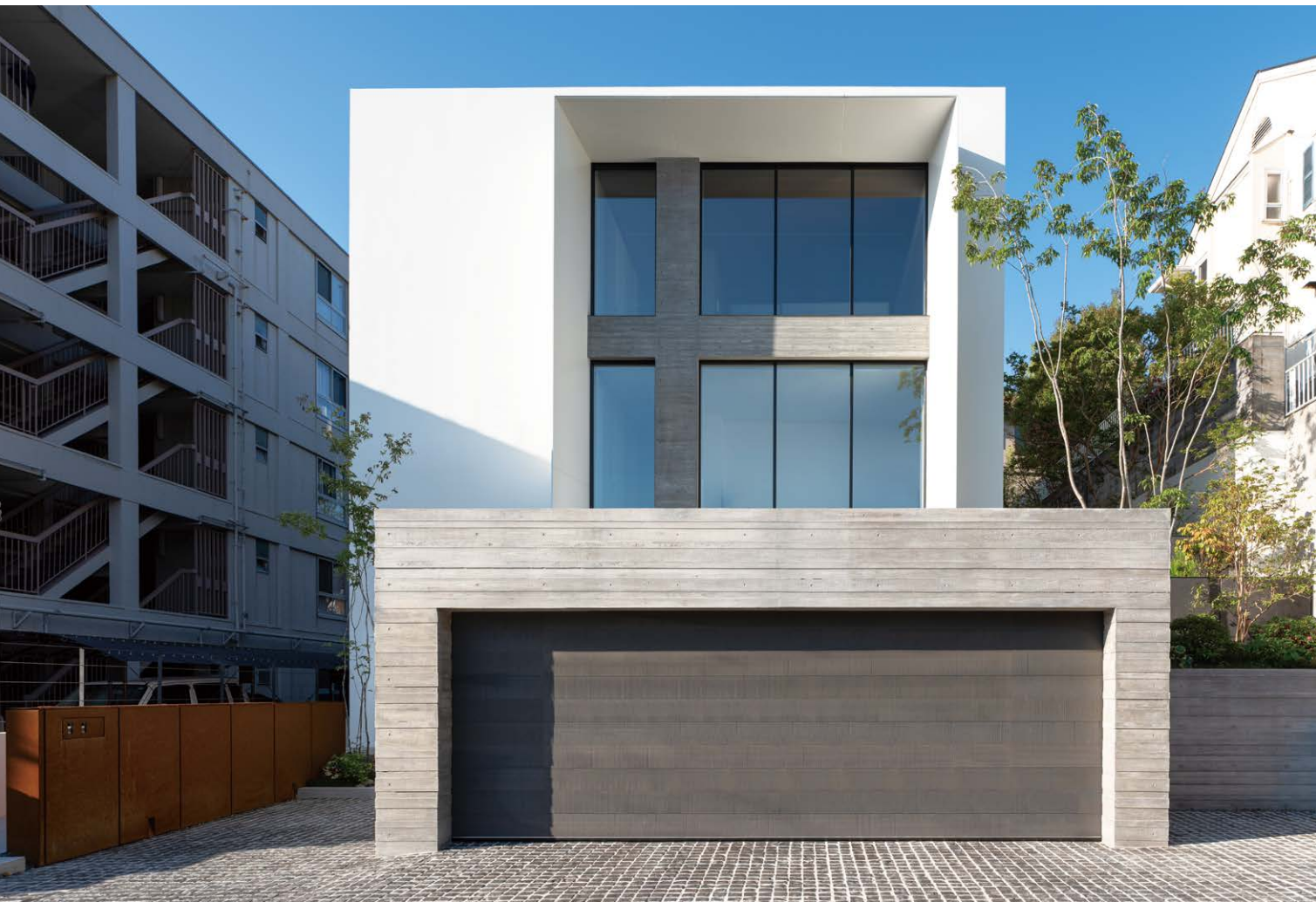
石油精製施設の事務所ビル。中国地方で古くから外壁材として使われていた焼杉を、手仕事の質感の残る杉板型枠打放しコンクリートで再現し、周囲の景観になじむ質実剛健な外観とした。内部空間では施設内のプラントのモチーフを随所に取り込み、プラントで働く従業員と事務所で働く従業員のエンゲージメントを高めることを意識した。ロビーにある送油配管をイメージしたベンチや、1~4階にわたる吹抜階段の壁面いっぱいに、施設内のシーンを取り込んだアートを設置することで、事務所で働く従業員もプラントを身近に感じられる。また、各所に吹抜を設けることで空間が一体的につながり、シームレスな働き方を誘発する。

建築主：西部石油株式会社
所在地：山口県山陽小野田市
用途：事務所
竣工：2022.02
構造規模：RC造
地上4階
敷地面積：261,422.52㎡
建築面積：2,067.09㎡
延床面積：5,278.70㎡
室内アートワーク：コンパッション
写真：古川泰造



国の重要文化財である綿業会館の東側に位置する、建築主の本社が併設するオフィスビルの計画である。外観は、目の前にある歴史的建造物と調和するように、レンガ調タイルとシンプルなサッシワーク、コンクリート打ち放し壁で構成している。アプローチ空間は外部から内部へつながる壁面は杉板型枠のコンクリート打ち放し壁とし、奥行き感と期待感を表現している。物販店舗や飲食店舗、会員制サロンそしてオフィスという様々な用途で構成された、賑わいのある建物となっている。街並みとの調和を図りながら、街のランドマークとなる建築を目指した。

所在地：大阪府大阪市
 用途：オフィスビル・店舗
 竣工：2019.03
 構造規模：RC造
 地上10階
 敷地面積：86.69㎡
 建築面積：64.22㎡
 延床面積：494.58㎡
 写真：松村芳治



本敷地は北に六甲山、甲山を望む阪神間屈指の住宅地に位置する。北を道路に面し、南西に向かって最大高低差6mの傾斜地であった。建物形状は間口10m×奥行12.5mの総3階建ての上にペントハウスを設けている。六甲の山並みを一望するため道路側に開けた大開口サッシにはアルミパネルにより1.1mの口のはね出しを設け、また東外壁とガレージには、表情の違う二種類の杉化粧型枠の凹凸感ある仕上げを採用する事で、外観に陰影によるアクセントを与えている。構造はRCラーメン構造を採用し、内部構造壁を減らす事で将来の可変性を持たせている。今回クライアントの会社による自社施工であったが、設計と施工が一本縄となり意欲的な作品となった。

所在地：兵庫県西宮市
用途：専用住宅
竣工：2022.02
構造規模：RC造
地上3階+PH
敷地面積：400.00㎡
建築面積：150.23㎡
延床面積：418.79㎡
写真：松村芳治

2022年 「建築人」作品募集



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

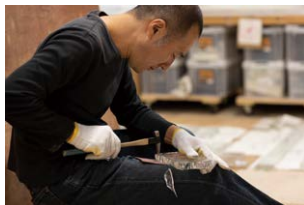
Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで13回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。2022年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左：建築人賞 右：建築人新人賞)



佐久間 靖

1971年 大阪府高槻市生まれ
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業
1997年 株式会社 ロクレーブルプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で*①を満たす方)

■ 掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、
所在地、用途、竣工年、構造規模、
敷地面積、建築面積、延べ床面積

■ 掲載記事内容

写真4点程度
説明文章：約300字程度

会長動静

- 5/28 滋賀県建築士会総会
- 5/30 徳島県建築士会大規模災害鑑定協議
- 6/ 1 近畿建築士会協議会 IT 連絡会
- 6/ 2 日本建築士会連合会理事会
- 6/ 7 大阪府収用委員会
- 6/ 9 日本建築材料協会 KENTEN 表彰式
- 6/10 京都府建築士会総会
- 6/11 東京建築士会意見交換会
- 6/15 正副会長会議、理事会
- 6/17 安心・安全まちづくり協議会総会
- 6/20 大阪府収用委員会
- 6/21 日本建築士会連合会総会
建築士登録機関等連絡協議会総会
- 6/22 大阪地方裁判所判事来会
- 6/23 大阪府建築設計協会総会
- 6/24 建設専門新聞社記者会見

6 月度 理事会報告

日時 6月15日(水) 16:00～19:00
 場所 本会会議室
 出席 理事 45/48 名 監事 1/2 名

(1) 入退会の承認

(人)	6月	入会	退会等
正会員	2,401	7	12
準会員	35	0	0
特準会員	25	0	0
賛助会員	139	1	0
計	2,600	8	12

(2) 会計報告

(円)	5月計	累計
収入	6,972,885	54,663,662
支出	13,155,950	23,445,446
差引	△ 6,183,065	31,218,216

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 動画編集費用の設定

本会は、各種事業の立案から実施まで委員によるボランティア活動で成立しているが、動画編集作業も一部特定の委員に集中して負担を掛けているのが現状です。建築情報委員会から、動画編集に至っては特に撮影から編集まで技能を要する作業と時間が伴うので一定の報酬を定めた

いという要望について、次の基本報酬を定めることを承認しました。

- 動画の録画及び編集作業
編集後の時間換算 5,000円/30分
 - 動画に音楽やコメント挿入の付加作業
編集後の時間換算 10,000円/30分
- なお、当該報酬の支出は企画実施の委員会によるものとします。

(4) 理事分掌及び活動の会報誌掲載
 建築情報委員会より、定時総会で選任された理事の分掌及び担当する活動内容を会員に掲示すること、並びに研修会や見学会等を中心にした各委員会の活動予定を掲載して、これからの企画内容を会員に周知することを承認しました。

(5) 動画撮影と配信管理
 IT促進委員会に動画撮影の依頼が集中し、特定の個人が対応を迫られているのが現状で、本会のIT化の促進を目指す目的から各種事業の通信設備担当に偏重されている側面があり、動画撮影等は担当委員会で外注も視野に人員や費用計画を入念に行なうよう要望がありました。各種事業のサポートをする場合にも、準備スケジュール等の情報提供や主導する担当委員との打合せ等の事前連絡が必須としました。また、動画制作費用のルールとして、Teams 配信に係る公開方法や諸費用の予算計画も重要としました。

(6) 大阪府ヘリテージマネージャー
 協議会規程(案)
 ヘリテージ委員会から示された現状に則した変更案の他に、本会と協議会の関係性が不明瞭、重要事項の位置づけ、改廃等の判断の際に委員会と理事会が並列であること、また細則で総会定足数の1/3の妥当性、監査は会計状況だけでないこと、委員報酬の有無などについて指摘があり、承認は保留としました。

(7) 本会ビジョン 2025
 2015年の策定の本会ビジョンを運営部門会議で検討し、2025年に向けた改訂について承認しました。今後の本会活動の行

動指針として共有し、フォローアップと評価・検証を行うこととしました。

(8) ウォーターフロント活性化提言
 2019年に策定した在阪4団体によるまちづくり共同宣言のうち、ウォーターフロント活性化について実際に動きだした淀川河川敷事業に着目し、大阪・関西万博も視野に、公民の連携で具体化を図る提言書を承認しました。
 7月1日の70周年記念シンポジウムで水都大阪の未来を語るために活用します。

大阪府建築士会 ビジョン 2025

【建築で人と人をつなぎ、新たな価値を共に創り出す】を新たなテーマとしました。ビジョンの目的と理念ではSDGsの具現化ため、1.職業倫理の向上と次世代人材の育成、国際化への対応や情報化、建設DXの普及推進、2.カーボンニュートラルに向けた省エネ、創エネに関する研修等によるグリーン建築の普及促進、3.快適でレジリエントなまちづくりのため、長寿命な建築創り、人生100年時代を支える子育て支援、生涯住宅に関する技術の普及開発に尽力することとしました。ビジョン達成のため、それぞれ7つの基本方針と具体的な取組み内容をまとめました。ビジョンの内容は本会HPをご覧ください。

持続可能なウォーターフロント活性化提言

SDGsに掲げられている「経済」「社会」「環境」のバランスに基づき、おおさかウォーターフロントを取り巻く状況、活性化提案とその事例をもとに、事業実現に向けた仕組みづくり・規制改革・環境整備の提案を行いました。
 具体的には<Cross the Border>境界を越えた連携、<Regulatory Reform>未来の具現化から導かれる規制改革と新たな枠組み構築、<Activity Funds>初期段階からの官民連携と活動資金の確保の3つを提言として取りまとめました。提言書の内容は本会HPをご覧ください。

『聖徳太子と四天王寺』講演と見学会 第三回 四天王寺の仏像を観る～仏像鑑賞の手引きとして～

日程：令和4年5月19日(木)
会場：四天王寺 本坊 安養殿
参加者：38名



一本久次(理事)

聖徳太子1400年御聖忌に寄せた今回の企画、12月より3回シリーズで開催した「聖徳太子と四天王寺」講演会も今回が最終回となりました。「建築」の分野からではなく「文化」という面を切り口にした今回の企画は「信仰」について初めて触れることも多く興味をそそる講演会となりました。コロナ禍にあって開催には不安もありましたが見学も含め対面で実施できたことは幸いでありました。第1回では四天王寺の歴史、太子の功績についての講演で、中でも特権階級の官寺が多い時代にあって四天王寺は「四箇院」という現在の社会福祉(医療、福祉、教育)の礎になるような制度を世に施し弱者救済を実践してきた話には驚きました。この所以が現在も多くの人が絶えることなく訪れる「四天王寺さん」に受け継がれているように思います。第2回では「四天王寺の宝物と信仰」につい

ての講演で、幾度の戦火や災害にあって復興を成し遂げ、貴重な宝物や伝統が今に守られてきた歴史や四天王寺信仰の根源となる太子信仰、浄土信仰、舍利信仰等について話を聞き「信仰」の奥深さを感じました。第3回では「四天王寺ほかの仏像の鑑賞」をテーマにした講演で、仏像の時代毎の製法や技法を知ることができました。制作技法の違いは仏像の制作年代を知る上で重要なカギになっているとの話もありました。絵堂では太子の生涯の壁画を鑑賞、解説を聞きましたが古今いつの時代もこの壁画(現在は再建の絵堂、壁画)を見て太子の偉大さや尊さを感じ取っていたかと思うと感慨深いものがありました。現在の中心伽藍は往事を忠実に再現した建造物、伽藍とのことでした。RC造で復元されたとはいえ創建当時の威厳と荘厳さを今に伝えるその建造物群や昔は

目にする機会が少なかったであろう高貴な仏像群、極楽浄土へ続く幻想的な西門に沈む夕日のお話等を見聞きして「信仰」に思いをはせる人々の気持ちに触れた気がしました。大阪人には親しみ深い「四天王寺さん」その存在の大きさを知ることができた講演会であったと思います。



建築相談室から(63) 分譲マンションの相談(1)

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

建築相談には分譲マンションの相談もたくさん寄せられます。本会の社会貢献部門にはマンション維持管理支援委員会があります。分譲マンションの相談は、マンション維持管理支援委員会とも連携を取りながら対応をしています。

大規模修繕について

やはり大規模修繕は定番の相談です。「11階建て築48年の大阪市内の71戸。前回の大規模修繕から15年経過しており、大規模修繕工事のコンサルタントを探している」は典型的な相談のひとつです。「築35年の3回目の大規模修繕工事を迎える。管理会社から国交省告示98号に基づいた報酬見積が出てきた。以前は積み上げ見積であったが、問題ないのか?」という相談もありました。このような相談は、コンサルタントの選定方法や比較的技術よりな相談なので、適切な回答はしやすいです。

タイル浮き、剥落に関して

こちらも多くある相談で、ちょうど1回目の大規模修繕を考える頃に問題になることが多いようです。「大規模修繕委員になった。外壁タイルの浮き調査に資格は必要か?」という相談がある一方で、「全25戸。管理会社からタイルが落下しそうで危険と言われて管理会社に50万円で劣化診断を依頼。20%前後の貼り替えが必要で4500万円の見積が出て、管理会社で工事を行うが、実際に工事をすると貼り替え面積が30%になり追加で2400万円必要といわれた。」という深刻な相談も。「築13年。外壁タイルの剥落と浮きを確認した。施工者に調査をしてもらった。数年前にも浮きがあったが、当時のコンサルティング会社は調査の結果問題ないと判断した。どうしたら良いか」などといった、1回の電話相談だけでは答えにくい相談もあります。

積立金不足もよくある相談

「管理会社が大规模修繕工事を進めるが積立金が不足していることがわかっている。借り入れしても良いのか?」という相談がある一方、タイル補修と絡めて資金が不足する相談も多いです。「2009年竣工の30戸。管理会社から大規模修繕の提案を受けた。修繕費用6300万円とのことだが、積立金が3300万円しかない。竣工後タイル落下があり大規模修繕は必要だと思っている。どうしたら良いか?」

技術的な問題解決だけではすまない

大規模修繕工事やタイルの浮き補修など建築技術的な解決は、建築士が通常業務として対処できますが、積立金不足や管理会社との問題、理事・修繕委員会・コンサルタントなど様々な人の思惑が輻輳する問題を多角的に解決するのは大変です。来月もマンションの相談をご紹介します。

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和4年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
7/6、9/2 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日時 7/6(水)、9/2(金) 8:55~17:00
会場 本会会議室
定員 各回20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習

2022年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
8/3 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日時 8/3(水) 9:30~16:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 40名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円
(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

大阪府知事指定講習

2022年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》
10/12・12/14 CPD各5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①10/12(水)、②12/14(水)
時間 10:00~15:50
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各40名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,300円
(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

令和4年度建築士定期講習

8/19、10/20、11/18、12/16、1/19、2/7、3/2
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※8/19(金)	大阪国際会議場	200名
10/20(木)	大阪YMCA会館	100名
※2/7(火)	大阪YMCA会館	100名

▼DVD講義

日程・会場・定員

※11/18(金)	大阪府建築健保会館	50名
※12/16(金)	大阪府建築健保会館	50名
1/19(木)	大阪府建築健保会館	50名
※3/2(木)	大阪府建築健保会館	50名

時間 9:15~17:00(各講習日共)
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)
申込方法
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)

※印の日程	大阪府建築士会事務局
※印以外の日程	大阪府建築士事務所協会事務局

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

▼建築技術教育普及センターHP
<https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teiki-koshu/kteiki/kt-koshujisshi2021.html>

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習8/25、10/27 CPD各5単位
更新講習2/22 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)

日時 8/25(木)、10/27(木)
9:30~17:00
会場 本会会議室
定員 20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込21,450円
郵送申込22,000円

▼更新講習(DVD)

日時 2/22(水) 13:30~16:50
会場 本会会議室
定員 20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込17,000円
郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

第41回大阪都市景観建築賞募集 推薦期間7/1~7/31

美しく、個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺景観の向上に資し、かつ、景観上優れた建物やまちなみを表彰します。皆様から推薦いただいた建物や建物を中心としたまちなみについて審査し、賞が与えられます。

対象 大阪府域内の「建物」及び「建物を中心としたまちなみ」

建物 平成29年8月1日から令和3年7月31日までに完成したもの

建物を中心としたまちなみ

令和3年7月31日までに完成したものの審査委員

加藤精一
(一社)大阪府建築士事務所協会理事

嶋 高宏
(一社)総合デザイナー協会代表理事
兼 理事長

下村泰彦
大阪公立大学大学院現代システム科学
研究科環境共生科学分野教授

寺地洋之
(公社)大阪府建築士会特任顧問

中嶋節子
京都大学大学院人間・環境学研究所教授

久 隆浩
近畿大学総合社会学部総合社会学科教授

藤本英子
京都市立芸術大学美術学部デザイン科教授

牧野克也
(株)産経新聞大阪本社編集局社会部長

受付期間 7/1(金)~7/31(日)
推薦方法
HP(<http://osaka-machinami.jp/>)から推薦してください。設計者等の自薦の方は、自薦専用書をHPよりダウンロードして応募ください。

大阪府ヘリテージマネージャー協議会 建築士の会 いずみ野 共催

泉大津市
『浜街道まち歩きと歴史的まちなみの活用を考える』
7/16 CPD4単位(予定)

紀州街道の海側に平行して走る「浜街道」には、江戸時代以降の町家建築が多数残され、泉大津市の貴重な文化資産になっています。工場を象徴するのこぎり屋根や虫籠窓、鍾馭様が鎮座する屋根飾りなど貴重な建築様式があちらこちらに見られ、伝統的建造物群と、毛布発祥の地として住工が混在する一種独特な歴史的景観をかもし出すまちなみとなっています。

まち歩きは泉大津市文化財保護委員会のご協力・ご案内で、普段は拝見できない歴史的建造物の町家や工場遺構・寺院などの内部の見学も予定しています。

日程 7/16(土)
12:50 集合
13:00~15:00 浜街道まちあるき
15:15~16:15 大場 修氏 講演
「泉大津の町並ー町家から地場産業都市を読み解くー」
16:15~16:45 泉大津市教育委員会奥野氏
「浜街道の現状と活用について」
及び意見交換

集合場所 南海線(空港線)泉大津駅1F
会場 泉大津市図書館シープラ多目的室
講師 大場 修(おおば おさむ)
立命館大学衣笠総合研究機構教授・
京都府立大学名誉教授

参加費 1,500円
定員 40名
※満席になりましたので、ただいまTELにてキャンセル待ちを受付しています。

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

創立70周年記念講演(定時総会) 香山壽夫氏講演会動画配信

本会の令和4年度定時総会の香山壽夫氏記念講演会の模様を、当日、ご出席された会員の皆様にもご視聴いただけるよう、本会会員限定で希望者に動画URLを配信します。
テーマ 建築は、人と人をつなぐ、社会の言葉
—美しく、大切に作りたい—

香山壽夫氏の主な作品
・ロームシアター京都(2016)
・東京大学伊藤国際学術センター(2011)
・熊野本宮館(2009)
・聖学院大学礼拝堂(2004)
・天使の聖母 トラピスチヌ修道院 旅人の聖堂(2001)
・東京大学工学部一号館(1996)
・彩の国さいたま芸術劇場(1994)
・関川村歴史資料館(1994)
・曾我平沢記念館(1991)
・東大屋上増築(1974)
・九州芸工大キャンパス(1970)
視聴期間 7/20(水)~7/29(金) 予定
申込締切日 7/15(金)
申込 本会HPよりお申込ください。

高耐力接合金物+構造計算が開く 「木造の新時代」の提案!「トラス構造工場見学」

(木材の強度を最も効率的に発揮するのはトラス構造)
8/27 CPD3単位(予定)

鉄骨造にかわる木造大空間の実現をテーマに、テックワンP3の自立フレーム架構/LVLトラス構造についての解説座学、さらに大断面構造用集成材と高耐力接合金物「テックワンP3+」による20mの片流屋根自立フレーム架構による40m×70mの工場とLVLトラスと2×4壁式構造による18m×36mの木造倉庫を見学していただきます。
日時 8/27(土) 14:00~17:00
会場 丹波篠山市民センター2F 催事場
(㈱岡本銘木店丹波篠山工場)
講師 ㈱飯野建築工房
代表取締役 飯野高明
㈱木構造デザイン
代表取締役 福田浩史
取締役 松岡忠生
㈱タツミ 角田和裕
住友林業㈱
木構造推進室 藤川光洋
定員 30名
参加費 会員1,000円 会員外1,500円

茶室について学ぶ ~近世数寄空間と煎茶室~

9/3 CPD2単位(予定)
茶室をテーマに、大阪電気通信大学教 矢ヶ崎善太郎氏を講師に迎え、近世の数寄空間と煎茶室についてお話しいたします。
日時 9/3日(土) 15:00~17:00
会場 本会東会議室

講師 矢ヶ崎善太郎
参加費 会員1,500円 会員外2,000円
学生・本会新入会員(2020年以降入会) 無料
令和2・3年合格者会員 無料
令和2・3年合格者会員外1,500円
定員 40名

第64回建築士会全国大会 あきた大会

10/14
今年の建築士会全国大会は、秋田で開催致します。会員には大会登録料6,000円を補助します。
テーマ 「建築」で挑戦!郷土のこれから
~け、け、けの秋田で まずかだれ~
期日 10/14(金)
会場 あきた芸術劇場ミルハス
秋田市千秋明徳町2-52
※全国建築士フォーラム、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会は10/13(木)に実施。
※地域交流見学会(エクスカーション)は10/15(土)に実施。
申込 建築士5月号P37の参加申込書に必要事項をご記入の上、本会事務局に7/15(金)までにご提出ください。
大会の詳細は「建築士5月号」をご覧ください。

行政からのお知らせ

EV充電設備の導入を支援する補助金のご案内

大阪府では「電気自動車用充電設備導入支援補助金」の募集を開始しました。本事業は、大阪府民が利用する駐車場に充電設備の設置を促すことにより、電気自動車(EV)等を利用しやすい環境を整えて普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素の削減を目指しています。
■補助対象となる充電設備
経済産業省「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」に基づくものうち、「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業(目的地充電)」の交付決定をうけたもの
※府補助額は、充電設備購入費に係る国補助額の二分の一です。
※工事費は府補助金の補助対象外ですが、国補助金で対象となります。
■補助対象となる施設の例
商業施設・宿泊施設・遊戯施設・観光施設・公共施設・飲食施設の利用者が使用する駐車場、時間貸し駐車場(個人宅や従業員専用駐車場等、特定の利用者しか利用できない駐車場は対象外です)
■申請受付期間 11/11(金)まで
■詳細は、下記URLにてご確認ください。
URL: <https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/juuden/>



その他のお知らせ

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会

8/23、10/21、12/19、2/14 CPD各3単位
地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。
日程 8/23(火)、10/21(金)、12/19(月)、2/14(火)
時間 受付12:30~、講習13:10~17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 各回80~150名
(新型コロナウイルス感染状況により調整)
受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
受講料 無料
テキスト代 1,600円(税込)
申込・問合せ 一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

京都工芸繊維大学大学院建築都市保存再生学コース 保存再生学シンポジウム 2022 第1回 歴史的建築物の保存再生デザインを担う人材育成を考える 7/9

建築を専門とする社会人が、多くの専門家による講義や実習を通じて、歴史的建築物の保存再生や改修についての基本的理念・技術を実践的に学ぶ講座です。京都工芸繊維大学では、2015年度より大学院に「建築都市保存再生学コース」を設置し、2020年度より建築士資格を持つ社会人向け講座「ヘリテージ・アーキテクト養成講座」を開始しました。東京理科大学では、2021年度より保存活用デザインのあり方を学ぶ「ヘリテージ・デザイン実践講座」を社会人等を対象とした大学院設計スタジオとして開設しています。また日本建築家協会では、文化庁が提言した「文化財ドクター派遣事業」の参加資格としての講座として「JIA文化財修復塾」を2015年度に開始しています。今回のシンポジウムでは、上記3つの講座を担う方々をお招きし、それぞれの取り組みをご紹介いただき、合わせて、現在我が国が直面する歴史的建築物の保存再生や改修の人材育成についての課題や、今後のあり方について座談会形式で話し合います。また国土交通省および文化庁の担当の方からコメントをいただき、検討を深めたいと思います。主催 京都工芸繊維大学大学院建築学専攻/京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab
日時 7/9(土) 13:30~17:00
会場 YouTubeによる配信/視聴ページのURLはお申込みいただいた方のみお伝えします。

※シンポジウム中の質問(チャットへの書き込み)はご自身のGoogleアカウントへのログインが必要。
講師 田原幸夫(京都工芸繊維大学客員教授)
鎌坂 徹(鹿児島大学教授)
山名善之(東京理科大学教授)
コメンテーター
国土交通省: 亀元靖彦(国土交通省住宅局参事官(建築企画担当)付課長補佐)
文化庁: 長尾充(文化庁文化資源活用課主任文化財調査官)
定員 300名(要申込)
受講料 無料
申込 下記のURLにアクセスし予約専用フォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/DicEvXwstTKGjMj7>
問合せ martinez@kit.ac.jp(担当マルティネス)

第6回片岡安賞(日本建築協会論考コンクール)

10/31締切
(一社)日本建築協会では創立100周年を機に、独自の事業として、いわゆる学術論文とは一線を画す「論考」コンクールをスタートさせ、今年で第6回を迎えます。今回もチャレンジ精神あふれる果敢な応募を広く期待しています。
募集テーマ
「ジェンダー平等」が変える建築の未来像
「ジェンダー平等の達成」が拓く未来に向けて、建築の分野はどのような形で貢献できるのか。
建築関係者のみならず、テーマに関心がある方々からの多数の応募を期待しています。
審査委員会
委員長
高田光雄(京都美術工芸大学教授、京都大学名誉教授)
審査委員
倉方俊輔(大阪公立大学教授)
弘本由香里(大阪ガスネットワークエネルギー文化研究所特任研究員)

応募条件
投稿料無料。応募者の国籍、年齢、所属不問。応募論文は単著、共著不問。応募論文は未発表のものに限る。ただし、日本建築協会会誌「建築と社会」に掲載された記事の改稿による論考は可。使用言語は日本語に限る。質問不可。受賞者は日本建築協会本会会員になること。
著作権・版権
著作権は応募者に帰属する。ただし、日本建築協会にかかわる出版・印刷においては、日本建築協会が自由に使用することができるものとする。
執筆要領 文字数は6,000字程度
応募方法
必要事項を記入した応募用紙とともに担当窓口へメール送付もしくはA4サイズに印刷したものを郵送。応募用紙は日本建築協会HPからダウンロード。
応募締切 10/31(月)(消印有効)
(電子投稿の場合23:50)

定時総会

2022年5月18日 午後2時よりKKR ホテル大阪にて、令和4年度の建築士会定時総会が執り行われました。受付前のロビーには、「建築人賞」と「大阪建築コンクール」受賞作のパネルが展示され、参加者の雰囲気を盛り上げていました。総会は今年度の理事等の役員および会務分掌が承認されました。下記の会務分掌表は、大阪府建築士会の活動概要と担当役員が示されたものです。会員の皆さんも本会の活動に積極的なご参画のほどよろしく願いいたします。（建築情報部門長／荻窪伸彦）



受付風景



ロビー（「建築人賞」、「大阪建築コンクール」の作品展示）風景



総会風景



会長挨拶

今年度の会務分掌 建築士会全体の活動と担当役員

部門	副会長	部門長	委員会	委員長	担当理事	主な活動概要
運 営	岡本会長	岡崎 雅	運 営		* 常設部門長で構成	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の運営全般 / 本会の発展に資する施策の立案・実施 / 総会・理事会の運営 ・本会の財務全般 / 財政健全化策の検討・各委員会への実行指示と確認 ・建築士試験業務 / 建築士登録等事務の運営管理 / 行政からの受託業務の拡大 ・会員増強・会員動静管理 / 会員名簿の発行
研 修	上田茂久	横田友行	研 修	設計・設備・法令	吉村淳二 岩岸克浩 松本俊哉	<ul style="list-style-type: none"> ・建築士法第22条の4第5項の規定に基づく研修会の実施 ・耐震講習会・定期講習会等研修事業の実施
				構造・施工	黒川宗範 永井 務 静 茂夫	<ul style="list-style-type: none"> ・CPD 単位取得及び専攻建築士のための研修事業の企画実施 ・建築士会版監理講習の実施 / 建築士のための基礎研修の実施（二級建築士研修）
			制度推進	相原康隆	<ul style="list-style-type: none"> ・CPD・専攻建築士制度の運営及び推進 / 行政への制度導入の働きかけ 	
事 業	濱田 徹	田中克之	徳岡浩二	記念行事	高原浩之 竹田敦子 水谷 敢	<ul style="list-style-type: none"> ・70周年記念事業（2022年）、全国大会「大阪大会」（2025年）準備企画 ・万博対応、福祉ディテール、浸水・耐水・耐風ディテール、医療福祉連携等
			青年	中北 力 春岡須磨子	<ul style="list-style-type: none"> ・建築士法第22条の4第5項の規定に基づく研修会の実施 	
			女性	曾我部千鶴美	<ul style="list-style-type: none"> ・建築専門分野の技術研究及び成果報告・技術支援 	
			シニアサロン	大附一彦 一本久次	<ul style="list-style-type: none"> ・青年・女性・シニア会員勧誘活動 	
			賛助	田端寿美	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員と連携した事業企画・実施 	
建築表彰	中嶋節子	山隈直人	建築表彰	規工川和史	<ul style="list-style-type: none"> ・都市景観建築賞・大阪建築コンクール・公共建築設計コンクール・建築甲子園・学校表彰等の実施 	
建築情報	石貫方子	田鍋 稔	荻窪伸彦	建築情報	松下典央	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌の発行、HP 運営管理 / 社会への本会 PR・情報発信 / 広告取得
			IT 促進	小谷美樹	<ul style="list-style-type: none"> ・電子建築士会戦略立案・実施 / 各委員会の活動情報とりまとめ / 会員のメールアドレス整備 / 情報武装化 	
社会貢献	田中義久	芳村隆史 (業務支援)	耐震 インスペクション	西野智子	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携した木造住宅耐震事業の推進 ・建築士によるインスペクション制度の確立とインスペクターを養成及び業務化 / 関連団体との連携 	
			建築相談 住宅を設計する仲間達	田代加奈 嶽下康弘 南 勝喜	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者・建築士への支援を目的とした建築相談 / 空き家相談 / 住宅設計・建設の支援 / 相談事例の研修化 ・建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成 / 関連団体との連携 	
			マンション維持管理支援	神保 勲	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの維持管理に関する相談及び相談員の養成 / 大規模改修ディテールマニュアルの作成と展開 	
		仙入 洋 (地域支援)	地域まちづくり 地域 防災 まちづくり	辻井光憲 藤江雅文 萬川幹夫 北野哲也 竹田雅彦 桑原宏明	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした有益な建築活動の実施 / 地域活動を中心とした会員勧誘・退会者防止 ・地元の市町村と建築士が地域に根ざした連携活動の展開（まちづくり・耐震・被災者支援等） ・行政に対する被災建築物応急判定及び相談の支援 / 連絡ネットワークの構築 / 地震・水害・風害等の罹災証明の認定調査 ・景観整備機構の運営 / 地域貢献活動センターの運営 	
			ヘリテージ	所 千夏	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携した文化財の健全な保全・活用の推進及びヘリテージマネジャーの養成 / 歴史的建造物委員会 	

式典・表彰式



40年在籍会員



25年在籍会員



35年以上在籍賛助会員

式典では栄誉会員・永年会員・CPD制度の表彰および、「第65回 大阪建築コンクール」と「第14回 建築人賞」の発表および表彰が行われました。「大阪建築コンクール」の審査委員長・長坂 大氏は、審査期間中に起こったロシアによるウクライナ侵攻に触れ「建築は人間の生存に関わるものであることを忘れてはならないし、同時に人々の日常を彩るものであってほしい。」と述べられました。また「建築人賞」の審査委員長・磯 達雄氏はビデオレターにて、最終審査で現地審査を行い、建物のオーナーや管理者の方のご協力に感謝を述べられました。(建築情報委員会／飯田英二)



大阪府知事賞(大丸心齋橋店本館)



「大阪建築コンクール」審査委員長・長坂 大氏



「建築人賞」審査委員長・磯 達雄氏



大阪府知事賞(富田のコートハウス)



建築人賞(タクマビル新館[研修センター])



建築人賞(印南の廻楼)



大阪府知事賞(三栄建設 鉄構事業本部新事務所)



建築人賞奨励賞(ちえの森ちづ図書館)



建築人賞奨励賞(山芦屋の家)



渡辺節賞(みんな2020)



建築人賞佳作(ANNEX TSUTENKAKU TOWER)



建築人賞佳作(日本圧着端子製造 大阪技術センター別館)



渡辺節賞(台地のFORTE)



建築人賞佳作(姫路の家)



建築人賞佳作(4棟の家)

記念講演

講演テーマ「建築は、人と人をつなぐ、社会の言葉 — 美しく、大切に作りたい —」

香山壽夫 氏 (東京大学 名誉教授 / 香山建築研究所 会長)

香山先生の物静かな口調で始まった講和は、会場の誰もが自然と先生の世界に引き込まれ、温かく豊かな気持ちで満たされました。テーマの「建築は、人と人をつなぐ、社会の言葉」は、建築とは個人の自分勝手な感情表現でも芸術でもなく、人と人を結ぶ「形の言葉」であり、みんなで創るものだと話されました。また、コロナ禍で人が集まる事を制限されてきたこの時世において、人をつなぐ建築の大切さを改めて教えられました。(建築情報委員会/松下典央)



ご講演をいただいた香山壽夫 先生

○ 建築は
人と人をつなぐ
「かたち」の「ことば」

○ この「かたちのことば」
によって人間は
社会を建て
文化を築いてきた。
このことを
大切にしていきたい。

先生が大切にされている言葉



会場の様子



ロームシアター京都 ※2



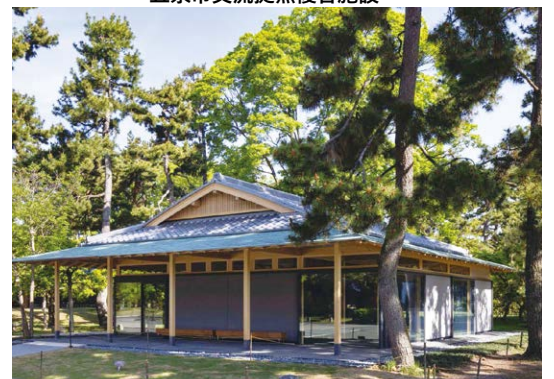
ロームシアター京都メインホール ※2



天使の聖母トラピスチヌ修道院「キリストの降誕」の煉瓦 ※1



五泉市交流拠点複合施設 ※2



京都御苑 情報館 ※2

写真 … ※1 香山壽夫氏 提供 ※2 小川重雄氏 提供

電子建築士会の実現！社会に尽くします。

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

岡本森廣

株式会社 長田建築事務所
大阪市中央区谷町9-5-28

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

安心安全・快適なモノづくりをめざす

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

2025関西大阪万博を共創しよう！

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co. LTD(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

ひとにやさしく

沼田亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

暑中お見舞申し上げます

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

建築設計事務所

人、社会、地球環境との共生

夢ある未来の創造

川田啓一

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町3-3
(日本生命梅田ビル)

金峰鐘大

株式会社 IAO竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

湯浅武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

西村清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

大松敦

株式会社 日建設計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

米井寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

竹中工務店

取締役社長 佐々木 正人

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

大成建設

TAISEI

For a Lively World

専務執行役員関西支店長 加賀田 健司
関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

建材・設備会社他

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
06-6205-7214

デジタルデータを多様な形で表現し、
お客様の未来を支援・サポートします。

株式会社 ディーネット

代表取締役 井上 務

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-22-38 TEL.(06)6445-6888




荷物用エレベーターもクマリフト。

荷物用・人荷用エレベーター
小荷物専用昇降機(ダムウェーター)
メンテナンス・保守・リニューアル

総合エレベーターメーカー

クマリフト株式会社

本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL：0120-07-0570
ホームページ：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事
高分子株式会社



WWW.KONDUNSI.CO.JP

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 池田 隆之

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL06(6271)0175 FAX06(6271)0177

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

理事長 横小路 敏弘

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 松本 將

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<https://www.kenzai.or.jp>



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 上谷 宏二

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園



OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <https://www.fukuda.ac.jp>

建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園

修成建設専門学校

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL.06-6474-1644

スマホのカメラでアクセス！
アプリ不要！

たとえばこのような
ガチャでクーポン発行。
集客UPに！



一度ためてみて！

新しいスマホ専用コンテンツ作成サービス！

中和のデザインQRコード

使える新サービス

スマホと連動した新しい商材

新たな集客に



中和印刷紙器株式会社 マスコットキャラクター「チユウ太郎」

中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53番地
TEL.(073) 431-4411

CHUWA

since 1936

中和印刷 検索

戦後復興の願いを刻む庁舎を見守って

香川県庁舎 一九五八年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

二〇二二年二月九日、丹下健三（一九一三〜二〇〇五年）が設計を手がけ、一九五八年に竣工した香川県庁舎が、国の重要文化財に指定された。戦後に建てられた庁舎建築としては全国で初めてとなる。しかも、指定されたのは、建物だけではない。同じく丹下の設計により整備された庁舎南庭の鉄筋コンクリート製の太鼓橋や石灯笼、受付カウンターや木製の長椅子、知事室の机や安楽椅子など、五七点の家具類も含まれている。こ

耐震改修着工直前の県庁舎南側外観
二〇一七年七月二一日撮影



一階ロビーを視察する神谷宏治（中央後ろ姿）
二〇二二年一月一八日撮影



を代表する近代建築二〇選を選んだDOCOMOMO日本支部代表を務めた東京大学教授の鈴木博之（一九四五〜二〇一四年）である。鈴木先生は、二〇一三年に香川県立ミュージアムで開催された生誕一〇〇周年丹下健三展の際、大病を患う中、シンポジウムにも登壇し、浜田恵造知事にDOCOMOMO選定プレートを贈呈する。一方で、この県庁舎の建築的な価値について、次のような指摘を新聞に寄稿していた。

「丹下再評価の動きのなかでは、丹下デザインに見られる水平性と垂直性の組み合わせが、日本建築の柱と梁の構成に通じるのか、床を支える小梁の表現が軒に見える垂木を思わせるといった、外観上の日本的造形を発見する姿勢ばかりが目立つ。けれども丹下の思考の根底には、（中略）平面計画から発する設計の発想がある。（中略）香川県庁舎も、平面構成

に大きな意味が込められていた。県庁舎事務棟は正方形の建物であるが、内部は縦横それぞれ三分割され、九個の正方形から構成されており、その中央部分が階段室などになっている。こうした平面構成は近代的なオフィスビルの定石だが、香川県庁舎は近代建築と見るよりも、日本の伝統的な「一間四面堂」の形式と見るべきである。「一間四面堂」とは、四本の柱で囲われた正方形の建物の四周に、ぐるりと軒を張り出した形式の建物のことで、中尊寺金堂など、阿弥陀堂建築がこの形式をもつ。（中略）丹下は県庁舎事務棟を一間四面堂とおなじ平面構成にすることに

現しようとしたのである。（鈴木博之「近代建築に込めた超越性」『毎日新聞』二〇一三年九月一〇日）

丹下の建築思想の核心を突く重要な指摘であり、文面からは、建築史研究者としての矜持が伝わってくる。亡くなる五ヶ月前のことだった。そして、もう一人は、丹下の下で県庁舎の設計チーフを務め、現場常駐監理にも携わった建築家の神谷宏治（一九二八〜二〇一四年）である。神

谷先生もまた、大病を患う中、丹下展の実行委員会の総括委員として尽力する一方で、県庁舎の改変されたしまった南庭の復元に向けた実務的な助言を営繕課の若い技師らに行うなど、地道な活動を続けていた。神谷先生がいなかったら、丹下展も県庁舎の重文化も実現できなかったに違いなし。その静かな語り口の中に、丹下に対する敬愛の念と彼の建築思想を伝えようとする意志が感じられた。

実は、筆者の神谷先生との交流はわずか五年弱に過ぎない。二〇〇九年の春、丹下の知られざる建築だった兵庫県淡路島の戦没学徒記念若人の広場（一九六七年）の将来が危ういとの情報が、地元在住の写真家の山田脩二（一九三九年〜）から編集者の平良敬一（一九二六〜二〇二〇年）に入り、山田さんの案内で、『住宅建築』の編集者らと現地を訪ねた。後日、平良さんから、前年に戦時下の前川と丹下のことを論文にまとめたのだから、この建築の歴史的意味について論考を書くようにと求められた。そして、設計チーフを務めた神谷先生を紹介される。この初対面の印象が忘れられない。君に何が分かるの

か、何が書けるのか、と無言のプレッシャーを受けたのだ。幸いにも、丹下事務所の協力を得て設計原図を閲覧し、設計担当者の奥保多聞氏に話を聞くことができた。だが、丹下自身の判断により竣工時に発表を差し控えたこの建築には戦争を巡る複雑な政治的状況が暗い影を落としており、論考執筆に苦しみ続けた。それでも、ひと夏を費やしてまとめた長文のゲラを読まれた神谷先生のメールには、「私の心に響く」と記されていた。

もしこの論考「丹下健三と記念碑的造形―モニュメンタリズム―をめぐって」（『住宅建築』二〇〇九年十一月号、拙著『ル・コルビュジェから遠く離れて』みすず書房）を書く機会がなければ、丹下展にも香川県庁舎にも関わることはなかった。全くの奇遇なのである。また、県庁舎の保存と耐震化を両立させる基礎免振構法を提言した岡田先生は、一九九八年、この構法を、ル・コルビュジェの国立西洋美術館で初めて試み、鈴木先生と共に、世界遺産登録への道筋を切り拓いた立役者だった。

こうして、県庁舎の重文化へ尽力した人々の姿が浮かび上がってくる。共有されていたのは、戦争の記憶と平和への希求だったのだと思う。旧制広島高校出身の丹下は原爆で旧友を失い、神谷は東京大空襲で母と姉と弟を失った。山田は幼少期に焦土と化した西宮を目撃する。そして、丹下に設計を依頼した金子正則知事も、県庁舎を空襲により市街地の八割を焼失させた高松の戦後復興の象徴にしたいと願ったのだ。そこに有名無名のたくさんの人々の思いが込められていることを忘れずにいたい。

光と水のEconology

Pure Coat®

“見えない”が見えてくる。

ピアレックス・テクノロジーズの技術で光触媒とフッ素樹脂を組み合わせたコーティング材「ピュアコート®」は、光と水の力で外壁の汚染を防止・分解し、耐候性を高めます。その効果はすぐには見えないけれど、時を経るごとに確実に見えてくるのです。また、コンクリート外壁において、新築時のきれいな状態を維持するのももちろん、すでに劣化していても新築同様によみがえらせる施工が可能。私たちピアレックス・テクノロジーズは、高い技術力で建物をいつまでも美しく守る最適なソリューションをお届けします。

ピアレックスが選ばれる理由

外壁コーティング材メーカーによる
製品開発から施工までの一貫体制

15年以上の経験と豊富な実績で信頼されています。

“メーカー”の枠を超えた高度な施工。

改修▷G-PFシステム®

打ち放しコンクリート調描画工法光触媒コート仕上げ
老朽化した打ち放しコンクリート外壁を新築同様に再生。長年培った汎用性フッ素樹脂の技術を応用し、これまでほぼ不可能とされてきた技術を実現しました。

新築▷N-RCシステム

フッ素樹脂光触媒クリアー仕上げ

独自の外壁コーティング材「ピュアコート®」を使用し、コンクリートの風合いをそのままに濡れ肌を防止し、その美観を長期間維持します。

※「ピュアコート®」、「G-PFシステム®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

〔本社〕 〒595-0016 大阪府泉大津市桑南町4-14
Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

〔東京営業所〕 〒111-0042 東京都台東区寿3-14-11
蔵前チヨダビル7階
Tel:03-5830-0055 / Fax:03-5830-0056

〔中部営業所〕 〒510-8114 三重県三重郡川越町
亀崎新田77-568
Tel:059-363-5151

www.pialex.co.jp

 PIALEX TECHNOLOGIES



建築家今井兼次によるレリーフ「糸車の幻想」



レリーフは復元保存され、2階レベルに設置。歩行者にも開放されている。